

する基礎的研究(第2報). 第3回和漢医薬学会学術大会, 1986, 8, 東京.

10) 齊藤明宏, 諸橋正昭: 和漢薬の抗面皰作用に対する組織化学的検討. 第3回和漢医薬学会学術大会, 1986, 8, 東京.

11) 齊藤明宏, 松井千尋, 池田和夫, 諸橋正昭: 和漢薬が原因と考えられた扁平苔癬様薬疹. 第37回日本皮膚科学会中部支部学術大会, 1986, 9, 富山.

12) 春木智江, 須藤成章, 諸橋正昭: Lichen aureus. 第37回日本皮膚科学会中部支部学術大会, 1986, 9, 富山.

13) 籠浦正順, 須藤成章, 諸橋正昭: 尋常性乾癬に合併した SLE の1例. 第320回日本皮膚学会北陸地方会, 1986, 9, 金沢.

14) 齊藤明宏, 須藤成章, 諸橋正昭: 当教室における水疱性疾患の免疫組織学的検討. 第7回富山免疫アレルギー研究会, 1986, 2, 富山.

15) 関太輔: Erosive pustular dermatosis of the scalp (EPDS) の1例. 第318回日本皮膚科学会北陸地方会, 1986, 2, 金沢.

16) 関太輔: Follicular mucinosis 様変化を伴った eosinophilic pustular dermatosis の1例. 第319回日本皮膚科学会北陸地方会, 1986, 9, 金沢.

17) 関太輔, 柴原直利: Weber-Christian 病の1例. 第320回日本皮膚科学会北陸地方会, 1986, 9, 金沢.

18) 関太輔, 勝山 豪: Riga-Fede 病の3例. 第22回日本皮膚科学会北信越合同学会, 1986, 11, 松本.

19) 齊藤明宏, 須藤成章: 菌状息肉症の1例. 第22回日本皮膚科学会北信越合同学会, 1986, 11, 松本.

20) 春木智江: Dysplastic nevus の1例. 第318回日本皮膚科学会北陸地方会, 1986, 2, 金沢.

21) 春木智江, 須藤成章, 高橋省三, 富川正樹, 上山武史: Klippel-Trenaunay-Weber 症候群の1例. 第319回日本皮膚科学会北陸地方会, 1986, 6, 金沢.

22) 春木智江: サルコイド反応の1例. 第321回日本皮膚科学会北陸地方会, 1986, 12, 福井.

23) 籠浦正順, 齊藤明宏, 高橋省三: 小児腹壁遠心性脂肪萎縮症の1例. 第319回日本皮膚科学会北陸地方会, 1986, 6, 金沢.

24) 籠浦正順, 齊藤明宏: Nodular fasciitis の1例. 第321回日本皮膚科学会北陸地方会, 1986, 12, 福井.

◆ その他

1) 諸橋正昭ほか: 皮膚疾患と漢方(座談会). 「現代の医学'86」, 日本短波放送, 1986, 1.

2) 諸橋正昭: 痤瘡の病因と治療. 「マルホ皮膚科セミナー」, 日本短波放送, 1986, 9.

3) 諸橋正昭: 尋常性痤瘡. 「最新の漢方治療指針」, 日本短波放送, 1986, 12.

4) 諸橋正昭: 皮膚疾患と和漢薬(特別講演). 昭和61年度千葉大・千葉皮膚科医会合同臨床談話会, 1986, 5, 千葉.

小 児 科 学

教 授	岡 田 敏 夫
助 授	鈴 木 好 文
講 師	樋 口 晃 邦
講 師	谷 沢 隆 夫
助 手	小 西 徹 夫
助 手	五 十 嵐 隆 夫
助 手	嶋 尾 智 正
助 手	谷 守 正 則
助 手	原 正 則 進
助 手	稲 場 進 志
文部技官	永 田 仁 志

◆ 著 書

1) 岡田敏夫: ナースのための小児科学. 249—259, 中外医学社, 1986.

2) 鈴木好文: 小児の急性糸球体腎炎. 「今日の治療指針」, 日野原重明他編, 696—697, 医学書院, 1986.

3) 松井 晶, 石和好美, 鈴木真奈美, 毛利尚毅, 竹中恒久, 岡田敏夫, 篠原治道, 松田健史: 小児の超音波診断～腎尿路～. 「小児科MOOK 増刊1」馬場一雄他編, 304—327, 金原出版, 1986.

◆ 原 著

1) 谷沢隆邦, 三浦一枝, 浅田礼子, 松倉裕喜, 馬瀬大助, 稲場 進, 谷 守正, 原 正則, 樋口晃, 岡田敏夫: 小児期膜性増殖性糸球体腎炎 I 型に対するカクテル療法の効果 ～臨床像と経時的生検像による評価～. 日本腎臓学会誌 28: 401—412, 1986.

2) Masanori Hara, Daisuke Mase, Susumu Inaba, Akira Higuchi, Takakuni Tanizawa, Noriaki Yamanaka, Yuichi Sugisaki, Yoshikazu Sada, and Toshio Okada: Immunohistochemical localization of glomerular basement membrane

antigens in various renal diseases. Virchows Archiv (Pathol Anat.) **408** : 403—419, 1986.

3) Hiroyoshi Matsukura, Yoshifumi Suzuki, Toshio Okada, Saburo Naiki, and Nobuo Sakuragawa: Multiple urinary isoenzyme assay by High-performance liquid chromatography. HRC & CC **9** : 479—480, 1986.

4) 原 正則, 市田路子, 樋口 晃, 谷沢隆邦, 鈴木好文, 岡田敏夫, 京谷征三: Charcot-Marie-Tooth 病を合併した巣状糸球体硬化症. 腎と透析 **21** : 447—450, 1986.

5) 稲場 進, 谷権隆邦, 馬瀬大助, 浅田礼子, 原 正則, 佐伯陽子, 樋口 晃, 岡田敏夫, 高田恒郎, 柳原俊雄, 河野 晃: 小児膜性腎症20例の臨床病理組織学的検討. 日本小児科学会誌 **90** : 2473—2481, 1986.

6) 岡田敏夫, 山谷美和, 和田博義, 内野宏己: 小児ネフローゼ症候群に対する和漢薬治療の試み. 和漢医学会雑誌 **2** : 468—471, 1986.

7) 奥田忠行, 小西 徹, 松田正毅, 高橋 薫, 桜川信男, 数川 悟: 長時間携帯用脳波記録装置 (Ambulatory EEG: Medidata M—300) の特性. 臨床病理, **34** : 2188—2192, 1986.

8) Tooru Konishi, Miyako Murakami, Miwa Yamatani, Masako Konda, Toshio Okada, Tadayuki Okuda: Clinical utility of ambulatory EEG monitoring system in epileptic children. Folia Psych. et Neurol. Japonica **40** : 1986.

9) 水上陽真, 渡辺弘之, 五十嵐隆夫, 村上巧啓, 佐々 学, 河合幸一郎: 成虫の直接気道吸入にて発症したユスリカ喘息の1例. 日本胸部疾患学会誌 **24** : 287—291, 1986.

10) 村上巧啓, 五十嵐隆夫, 佐伯陽子, 足立雄一, 松野正知, 岡田敏夫, 河合幸一郎, 熊谷 朗, 佐々 学: ユスリカ喘息に関する研究. アレルギー **35** : 393—401, 1986.

11) 足立雄一, 五十嵐隆夫, 村上巧啓, 松野正知, 佐伯陽子: 乳幼児気管支喘息におけるヒスタミン吸入閾値の測定. アレルギー **35** : 455—460, 1986.

12) T. Nakada, S. Ishikawa, M. Sakamoto, T. Katayama, T. Igarashi, Y. Mizumura, F. Koizumi, H. Shigematsu, T. Fukuda: N—(3', 4'—Dimethoxycinnamoyl) Anthranillic Acid, an Antiallergic Compound, Induced Eosinophilic Cystitis. Urol. Int. **41** : 457—464, 1986.

◆ 総説, その他

1) 谷沢隆邦, 岡田敏夫: 小児の腎不全. 臨床と研究 **63** : 1187—1194, 1986.

2) 谷沢隆邦, 岡田敏夫, 柳原俊雄, 高田恒郎: 溶血性尿毒症症候群. 小児科臨床 **39** (Suppl) : 2796—2802, 1986.

3) 谷沢隆邦, 稲場 進, 馬瀬大助, 浅田礼子, 樋口 晃, 岡田敏夫: IgA 腎症. 小児科臨床 **39** (Suppl) : 2788—2795, 1986.

4) 谷沢隆邦: 小児の腎臓病 ~その予知と発症~. 薬局 **37** : 1061—1068, 1986.

5) 原 正則, 浅田礼子, 岡田敏夫: 遺伝性腎炎. 小児科臨床 **39** (Suppl) : 2781—2787, 1986.

6) 原 正則, 岡田敏夫: 腎糸球体基底膜をめぐる最近の知見. 小児科 **27** : 683—693, 1986.

7) 足立雄一, 嶋尾 智, 窪田博道, 谷沢隆邦, 鈴木好文, 岡田敏夫: 新生児腎静脈血栓症の1例. 小児科臨床 **38** : 333—337, 1986.

8) 鈴木好文: アデノシンデアミナーゼ結合蛋白, 腎疾患の新しいマーカー. 医学のあゆみ **136** : 724—725, 1986.

9) 鈴木好文, 岡田敏夫: 尿細管性蛋白尿とその病態. 小児臨床 **39** : 817—824, 1986.

10) 嶋尾 智, 鈴木好文, 今井郁子, 今村博明, 岡田敏夫: 新生児の腎出血. 周産期医学 **16** : 563—567, 1986.

11) 鈴木好文, 岡田敏夫: 小児の蛋白尿. 日本医事新報 **3244** : 10—14, 1986.

12) Yoshifumi Suzuki: Rapid differentiation between glomerular and tubular proteinuria by high performance liquid chromatography. Urology Digest **5** : 27, 1986.

13) 鈴木好文: アデノシンデアミナーゼ結合蛋白. Medical Technology **14** : 1062—1064, 1986.

14) 鈴木好文, 嶋尾 智: Bartter 症候群. 小児科臨床 **39** (Suppl) : 2803—2807, 1986.

15) 馬瀬大助, 窪田博道, 浅田礼子, 稲場 進, 原 正則, 樋口 晃, 谷沢隆邦, 岡田敏夫: Rapidly progressive glomerulonephritis (RPGN) 様症状にて発症し, カクテル療法が奏功した IgA 腎症の1例. 小児科臨床 **39** : 903—907, 1986.

16) 嶋尾 智, 岡田敏夫, 鈴木好文, 今井郁子: 排尿痛. 小児科 **37** : 1135—1144, 1986.

17) 鈴木好文: 体高血圧の Intensive Care. 小児内科 1986年臨時増刊: 52—56, 1986.

18) 岡田敏夫: 小児期ネフローゼ症候群に対する和漢薬治療の試み. Pharma Medica **4** (新春増刊) : 208—212, 1986.

19) 岡田敏夫：遷延する腎炎。小児科診療 49：625—627, 1986.

20) 岡田敏夫：学校検尿の事後措置と生活管理。日本医師会雑誌 96：552—558, 1986.

21) 岡田敏夫：小児ネフローゼ症候群 ～漢方製剤の併用療法～。カレントセラピー 4：329—335, 1986.

22) 宮崎あゆみ, 本郷和久, 丸山明夫, 小西徹, 岡田敏夫：明らかに溶連菌感染症を認めた川崎症の2例。小児科診療 49：2323—2326, 1986.

23) 高井里香, 原 正則, 谷沢隆邦, 岡田敏夫：Yersinia pseudotuberculosis 感染症に合併したTubulointerstitial nephritis の1例。小児科臨床 39：113—116, 1986.

24) 村上美也子, 山谷美和, 紺田応子, 小西徹, 岡田敏夫：非痙攣性疾患児に認められた突発波の検討。小児科診療 49：1619—1623, 1986.

25) 成瀬優知, 五十嵐隆夫, 伊藤 茂, 鏡森定信, 寺西秀豊, 中川秀昭, 中村凱次, 平沢好武, 平谷美智夫, 武藤一彦, 村上巧啓, 山田 燦：北陸地方における小児気管支喘息頻度調査。アレルギーの臨床 6：1077—1080, 1986.

26) 山谷美和, 村上美也子, 紺田応子, 小西徹, 岡田敏夫：てんかん, 熱性痙攣児における免疫異常 ～特に低 IgA 血症について～。小児科診療 49：215—218, 1986.

27) 松倉裕喜, 宮崎あゆみ, 市田路子, 岡田敏夫, 西谷 泰, 藤村光夫, 肥田高嶺, 若木邦彦：原発性心内膜線維弾性症の同胞例。小児科診療 49：1522—1526, 1986.

28) 小西 徹, 村上美也子, 山谷美和, 紺田応子, 岡田敏夫, 奥田忠行：小児期痙攣性疾患における Ambulatory EEG monitoring system の臨床応用 ～発作時記録を中心に～。臨床脳波 28：624—628, 1986.

29) 小西 徹, 村上美也子, 山谷美和, 紺田応子, 岡田敏夫, 奥田忠行：小児期痙攣性疾患における長時間携帯用脳波記録装置 (Ambulatory EEG monitoring system) の臨床応用。小児科診療 49：2306—2310, 1986.

30) 紺田応子, 村上美也子, 山谷美和, 小西徹, 鈴木好文, 岡田敏夫：夜尿症における脳波異常と Kimmel-Azrin 療法について。小児科診療 49：2188—2192, 1986.

31) 五十嵐隆夫, 村上巧啓, 岡田敏夫, 河合幸一郎, 熊谷 朗, 佐々 学, 水上陽真, 渡辺弘之：ユスリカ喘息 ～大発作を起こした1例～：治療学

16：687—691, 1986.

32) 五十嵐隆夫, 村上巧啓, 佐伯陽子, 足立雄一, 松野正知, 丸山明夫, 岡田敏夫：ユスリカ喘息。小児科の進歩 6：141—146, 1986.

33) 五十嵐隆夫, 村上巧啓, 足立雄一, 松野正知, 佐伯陽子, 丸山明夫, 寺西秀豊, 荒川 良, 上村 清：喘息児家屋内ダニ数のプレパラートトラップ法による長期的観察。アレルギーの臨床 6：1081—1085, 1986.

34) 佐伯陽子, 本間一正, 江本清和, 山崎一郎, 鳥取孝成：新生児肝被膜下水腫の1例。富山赤十字病院研究紀要, 3：4, 1986.

35) 稲場 進, 馬瀬大助, 谷沢隆邦, 鈴木好文, 岡田敏夫：乳幼児期における検尿成績と腎疾患の検討。厚生省心身障害研究, 小児慢性腎疾患の予防, 管理, 治療に関する研究昭和60年度研究業績報告書 207—210, 1986.

36) 樋口 晃, 岡田敏夫：脱水症の鑑別と処置。メディカルコンパニオン 6：1029—1033, 1986.

37) 洲崎 健, 今野多助, 塚本二郎, 寺沢政彦, 土屋 滋：白血球膜 CR³/LGA—1 欠損症の病態と治療。抗酸菌研究所雑誌 37：115—124, 1986.

38) 岡田敏夫：小児腎疾患の早期発見とその対策。全国腎炎ネフローゼ児を守る会会報 16：28—40, 1986.

39) 岡田敏夫：ネフローゼ症候群(最新の漢方治療指針第1集)。日本医師会雑誌 96：1986.

40) 岡田敏夫：ネフローゼ症候群の漢方治療。Physician's Therapy Manual (PTM) 3：13, 1986.

41) 岡田敏夫：小児腎疾患と漢方 ～ネフローゼ, 腎炎をめぐる～ (座談会)。漢方医学 10：1—11, 1986.

42) 岡田敏夫：小児期ネフローゼ症候群に対する漢方治療。日経メディカル 10：142—143, 1986.

◆ 学会報告

1) 窪田博道, 谷沢隆邦, 鈴木好文, 岡田敏夫：Sodium thiosulfate (STS) による Cis-diammineidichloroplatinum (CDDP) 腎障害の予防効果に関する研究。第89回日本小児科学会, 1986, 5, 久留米.

2) Yoshifumi Suzuki, Toshio Okada：Asymptomatic low molecular weight proteinuria in children. The VII international Congress of Pediatric Nephrology, 1986, 9, Tokyo.

3) Fatica, N. S., F. Ichida, O'houghlin, J. E., Klein, A. A., Snyder, M. S., Ehlers, K. H., Engle,

M. A. : Kawasaki Syndrome in Mid Manhattan, American Academy of Pediatrics Section on Cardiology 28th Annual Meeting, 1986, 10—11, Washington DC.

4) Gyokei Murakami, Takao Igarashi, Toshio Okada : Common Occurrence in Toyama of bronchial asthma induced by chironomid midges, 日本医学協力会議 (第2回富山医科薬科大学医学会総会), 1986, 7, 富山.

5) A. Higuchi, D. Mase, R. Asada, S. Inaba, M. Tani, M. Hara, T. Tanizawa, Y. Suzuki, T. Okada : Anionic sites distribution in the human glomerulonephritis, The 7th International Congress of Pediatric Nephrology, 1986, 9, Tokyo.

6) R. Asada, M. Hara, A. Higuchi, D. Mase, T. Tanizawa, S. Inada, T. Okada : Immunochemical alterations of glomerular basement membrane antigens in various renal diseases. The 7th International Congress of Pediatric Nephrology, 1986, 9, Tokyo.

7) 村上巧啓, 五十嵐隆夫, 佐伯陽子, 松野正知, 足立雄一, 原 正則, 鈴木好文, 岡田敏夫, 河合幸一郎, 熊谷 朗, 佐々 学 : ユスリカ喘息に関する研究 ~オオユスリカの成虫主要感作抗原分画の検索と幼虫抗原との関係~. 第23回日本小児アレルギー学会, 1986, 11, 北九州.

8) 村上巧啓, 五十嵐隆夫, 佐伯陽子, 原 正則, 鈴木好文, 岡田敏夫, 河合幸一郎, 熊谷 朗, 佐々 学 : ユスリカ喘息に関する研究 (IV) オオユスリカの主要感作抗原分画の検討. 第36回日本アレルギー学会, 1986, 10, 岐阜.

9) 足立雄一, 五十嵐隆夫, 佐伯陽子, 松野正知, 村上巧啓, 丸山明夫, 岡田敏夫, 吉住 昭 : アトピー性皮膚炎およびアレルギー性鼻炎の乳幼児における気道過敏性経時的変化. 第23回日本小児アレルギー学会, 1986, 11, 北九州.

10) S. Inaba, M. Hara, D. Mase, R. Asada, A. Higuchi, T. Tanizawa, T. Okada, A. Ohshima : Distribution of Type III, Type IV and Type V Collagen in various renal diseases. The 7th International Congress of Pediatric Nephrology, 1986, 9, Tokyo.

11) T. Tanizawa, K. I. Miura, A. Asada, H. Matsukura, D. Mase, S. Inaba, T. Tani, M. Hara, A. Higuchi, T. Okada : The Effectiveness of Cocktail therapy in early treated children with MPGN Type I with special regard to remarkable his-

tological improvement. The 7th International Congress of Pediatric Nephrology, 1986, 9, Tokyo.

12) T. Tanizawa, S. Inaba, D. Mase, R. Asada, M. Tani, M. Hara, A. Higuchi, T. Okada : Immunofluorescence of deparaffinized, trypsin treated renal tissues : A comparison between Dubosq-Brazil Fixation and Formol Sucrose/GUM Sucrose method. The 7th International Congress of Pediatric Nephrology, 1986, 9, Tokyo.

13) 谷沢隆邦, 稲場 進, 馬瀬大助, 浅田礼子, 原 正則, 樋口 晃, 岡田敏夫, 柳原俊雄, 高田恒郎 : 小児期 IgA 腎症の23例に対する追跡腎生検. 第29回日本腎臓学会総会, 1986, 11, 東京.

14) 浅田礼子, 馬瀬大助, 稲場 進, 原 正則, 樋口 晃, 谷沢隆邦, 岡田敏夫 : ヒト基底膜抗原分布 —電顕酵素抗体法による観察—. 第29回日本腎臓学会総会, 1986, 11, 東京.

15) 稲場 進, 原 正則, 馬瀬大助, 浅田礼子, 樋口 晃, 谷沢隆邦, 岡田敏夫, 大島 章 : ヒト腎基底膜抗原に関する研究 —第VII報— 正常及び各種糸球体病変のIII型 collagen の局在. 第29回日本腎臓学会総会, 1986, 11, 東京.

16) 足立雄一, 五十嵐隆夫, 佐伯陽子, 松野正知, 村上巧啓, 丸山明夫, 岡田敏夫, 吉住 昭 : 年少児気管支喘息における気道過敏性の経時的変化. 第36回日本アレルギー学会, 1986, 10, 岐阜.

17) 五十嵐隆夫, 村上巧啓, 佐伯陽子, 松野正知, 足立雄一, 丸山明夫, 岡田敏夫, 寺西秀豊, 熊谷 朗, 佐々 学 : ユスリカ喘息に関する研究 ~オオユスリカを中心とした各種ユスリカのアレルゲン性の検討~. 第23回日本小児アレルギー学会, 1986, 11, 北九州.

18) 佐伯陽子, 五十嵐隆夫, 村上巧啓, 足立雄一, 松野正知, 丸山明夫, 岡田敏夫, 鏡森定信, 熊谷 朗, 佐々 学 : ユスリカ喘息に楽する研究 ~抗体陽性者の臨床的検討~. 第23回日本小児アレルギー学会, 1986, 11, 北九州.

19) 丸山明夫, 足立雄一, 五十嵐隆夫, 村上巧啓, 松野正知, 佐伯陽子, 岡田敏夫, 吉住 昭 : 年少児気管支喘息における気道過敏性の検討 ~その経時的変化について~. 第23回日本小児アレルギー学会, 1986, 11, 北九州.

20) 松野正知, 五十嵐隆夫, 村上巧啓, 足立雄一, 佐伯陽子, 丸山明夫, 岡田敏夫 : 室内空中ダニ抗原の定量的測定の試み. 第23回日本小児アレルギー学会, 1986, 11, 北九州.

21) 洲崎 健, 勅使河原正義 : 癌化学療法期間の

発熱におけるリムルステストの診断的意義。第12回小児悪性腫瘍研究会, 1986, 3, 仙台。

22) 紺田応子, 村上美也子, 山谷美和, 小西徹, 岡田敏夫: 小児期における焦点性発作波の経時的变化。第20回日本てんかん学会, 1986, 11, 東京。

23) 小西 徹, 村上美也子, 山谷美和, 紺田応子, 岡田敏夫, 瀬戸 光, 二谷立介: 小児難治性部分てんかんにおける Ca 拮抗剤 (Flunarizine) の有用性について。第20回日本てんかん学会, 1986, 11, 東京。

24) 奥田忠幸, 林 史郎, 松田正毅, 高橋 薫, 桜川信男, 小西 徹, 数川 悟: 携帯用長時間脳波記録装置 (Ambulatory EEG Monitoring System) におけるアーチファクトの検討。第75回日本臨床病理学会, 1986, 10, 三重。

25) 村上美也子, 山谷美和, 紺田応子, 小西徹, 岡田敏夫, 埜中征哉: 仮性アルドステロン低下症を合併した重症先天性多関節拘縮症の1例。第28回日本小児神経学会, 1986, 6, 松江。

26) H. Matsukura, T. Okada, Y. Suzuki: A rapid method for the separation of isoenzymes in urine using high-performance liquid chromatography. The 7th International Congress of Pediatric Nephrology, 1986, 7, Tokyo.

27) 小西 徹, 村上美也子, 山谷美和, 紺田応子, 岡田敏夫: てんかん児における局所脳循環動態の測定 (^{123}I -IMP SPEG) ~焦点部の血流状態とカルシウム拮抗剤の有用性について~。第28回日本小児神経学会, 1986, 6, 松江。

28) 山谷美和, 村上美也子, 紺田応子, 小西徹, 岡田敏夫: 小児痙攣性疾患における Ambulatory EEG Monitoring System の臨床応用 (第2報) ~特に発作間歇期記録を中心に~。第28回日本小児神経学会, 1986, 6, 松江。

29) 嶋尾 智, 鈴木好文, 今井郁子, 今村博明, 岡田正俊: 新生児における尿中蛋白分析について ~在胎週数による変化~。第22回日本新生児学会総会, 1986, 7, 東京。

30) 嶋尾 智, 鈴木好文, 今井郁子, 今村博明, 岡田敏夫: プロスタグランジン生成阻害剤の新生児腎機能に及ぼす影響。第31回未熟児新生児学会, 1986, 12, 高松。

31) 今村博明, 嶋尾 智, 今井郁子, 鈴木好文, 岡田敏夫: 成熟新生児血尿例の検討。第31回未熟児新生児学会, 1986, 12, 高松。

32) 今井郁子, 今村博明, 嶋尾 智: 低出生体重児の血中, 尿中アミノ酸の検討。第22回日本新生児

学会総会, 1986, 7, 東京。

33) 今井郁子, 鈴木好文, 嶋尾 智, 今村博明, 岡田敏夫: 低出生体重児の血中, 尿中アミノ酸の検討 ~呼吸障害による影響~。第31回未熟児新生児学会, 1986, 12, 高松。

34) 馬瀬大助, 稲場 進, 浅田礼子, 原 正則, 樋口 晃, 谷沢隆邦, 岡田敏夫: 溶連菌感染後糸球体腎炎が強く疑われた IgA 腎症の1例。第16回日本腎臓学会西部部会, 1986, 5, 長崎。

35) 足立雄一, 五十嵐隆夫, 佐伯陽子, 松野正知, 村上巧啓, 丸山明夫, 岡田敏夫, 吉住 昭: 年少児気管支喘息における気道過敏性経時的变化。第22回中部日本小児科学会, 1986, 8, 名古屋。

36) 松野正知, 五十嵐隆夫, 村上巧啓, 足立雄一, 佐伯陽子, 丸山明夫, 岡田敏夫: ユスリカ喘息に関する研究 ~抗体陽性者の臨床的検討~。第22回中部日本小児科学会, 1986, 8, 名古屋。

37) 村上巧啓, 五十嵐隆夫, 足立雄一, 松野正知, 佐伯陽子, 丸山明夫, 岡田敏夫: ユスリカ喘息に関する研究 ~オオユスリカを中心とした各種ユスリカの共通抗原性及び主要感作抗原分画の検討~。第22回中部日本小児科学会, 1986, 8, 名古屋。

38) 八木裕子, 小西 徹, 足立雄一, 岡田敏夫, 遠藤俊郎: 特異な経過をとった上矢状静脈洞血栓症の1例。第22回中部日本小児科学会, 1986, 8, 名古屋。

39) 五十嵐隆夫, 村上巧啓, 足立雄一, 松野正知, 佐伯陽子, 丸山明夫, 岡田敏夫: 乳幼児気管支喘息の気道過敏性測定。第214回日本小児科学会北陸地方会, 1986, 3, 富山。

40) 五十嵐隆夫, 村上巧啓, 佐伯陽子, 宮崎あゆみ: 三峰性発熱と巨大冠動脈瘤を合併した川崎病の1女児例。第216回日本小児科学会北陸地方会, 1986, 9, 金沢。

41) 佐伯陽子, 五十嵐隆夫, 村上巧啓, 足立雄一, 松野正知: ユスリカ喘息に関する研究 ~抗体陽性者の臨床的検討~。第215回日本小児科学会北陸地方会, 1986, 6, 金沢。

42) 佐伯陽子, 本間一正, 江本清和: 新生児寒冷障害と思われる1例。第214回日本小児科学会北陸地方会, 1986, 3, 富山。

43) 大中正光, 大橋博和, 堤 泰史, 山下成哲, 坪田 誠, 田中 孝, 林 鐘声, 浜岡建城, 佐伯陽子: 感染性心内膜炎による僧帽弁閉鎖不全症の生後4カ月の乳児に対する人工弁置換術の1治療例。第215回日本小児科学会北陸地方会, 1986, 6, 金沢。

44) 宮崎あゆみ, 市田路子, 小西 徹, 村上美也

子, 鈴木好文, 岡田敏夫: Cutis laxa congenita と肥大性閉塞型心筋症の1合併例. 第217回日本小児科学会北陸地方会, 1986, 12, 富山.

45) 山谷美和, 村上美也子, 紺田応子, 小西徹, 岡田敏夫: 小児期頭部 CT における Cisterna magna の臨床的意義. 第214回日本小児科学会北陸地方会, 1986, 3, 富山.

46) 山谷美和, 長沼賢寛, 村上美也子, 紺田応子, 小西徹, 岡田敏夫: てんかん性突発波の circadian cycle ~純粹小発作を中心に~. 第216回日本小児科学会北陸地方会, 1986, 9, 金沢.

47) 樋口 晃, 馬瀬大助, 浅田礼子: 乳児期 CAPD 療法における栄養管理. 第217回日本小児科学会北陸地方会, 1986, 12, 富山.

48) 今村博明, 嶋尾 智, 今井郁子, 鈴木好文, 岡田敏夫: 成熟新生児血尿例の検討. 第22回中部日本小児科学会, 1986, 8, 名古屋.

49) 馬瀬大助, 浅田礼子, 稲場 進, 原 正則, 谷沢隆邦, 樋口 晃, 岡田敏夫: 溶連菌感染後急性糸球体腎炎にて発症した IgA 腎症の1例. 第22回中部日本小児科学会, 1986, 8, 名古屋.

50) 稲場 進, 馬瀬大助, 浅田礼子, 原 正則, 佐伯陽子, 樋口 晃, 谷沢隆邦, 岡田敏夫, 高田恒郎, 柳原俊雄, 河野 晃: 小児膜性腎症20例の臨床病理組織学的検討. 第22回中部日本小児科学会, 1986, 8, 名古屋.

51) 本郷和久, 本間一正, 江本清和: 脳性巨人症と思われる一症例. 第11回富山県小児科集談会, 1986, 7, 富山.

52) 松野正知, 小西 徹, 山谷真己: 流行性耳下腺炎に合併した横断性脊髄炎の1例. 第11回富山県小児科集談会, 1986, 7, 富山.

53) 嶋尾 智, 今井郁子, 今村博明, 中西拓郎: 先天性声門下狭窄の1治療例とその後の経過. 第11回富山県小児科集談会, 1986, 7, 富山.

54) 八木裕子, 山谷真己: 末梢血及び骨髄で著明な顆粒球減少をきたした伝染性単核症の1例. 第11回富山県小児科集談会, 1986, 7, 富山.

55) 京谷征三, 木村晶子, 馬瀬大助, 山谷美和: 麻疹肺炎で死亡したダウン症候群の2例について. 第11回富山県小児科集談会, 1986, 7, 富山.

56) 五十嵐隆夫, 村上巧啓, 足立雄一, 松野正知, 佐伯陽子, 丸山明夫: 乳幼児における気道過敏性測定の臨床的意義につちいて. 第11回富山県小児科集談会, 1986, 7, 富山.

57) 稲場 進, 馬瀬大助, 樋口 晃, 谷沢隆邦, 岡田敏夫: 小児期膜性腎症20例の臨床病理組織学的

検討. 第11回富山県小児科集談会, 1986, 7, 富山.

58) 窪田博道, 佐伯陽子, 山下芳郎, 島多勝夫: シス・プラチン(CDDP)が著効し, Primary delayed operation にて全摘に成功した胸部原発神経芽細胞腫の1例. 第11回富山県小児科集談会, 1986, 7, 富山.

59) 江本清和, 佐伯陽子, 本郷和久, 本間一正: 著明な胆嚢腫大を呈した MCLS (再発) の1例. 第11回富山県小児科集談会, 1986, 7, 富山.

60) 本郷和久, 本間一正, 江本清和: ALLの経過中に, 心筋梗塞様の所見を呈した1症例. 第12回富山県小児科集談会, 1986, 11, 富山.

61) 大嶋忠幸, 松野正知: 経過中に DIC を合併した川崎病の1カ月女児例. 第12回富山県小児科集談会, 1986, 11, 富山.

62) 宮崎あゆみ, 市田路子: 当科における心室中隔欠損症の臨床. 第12回富山県小児科集談会, 1986, 11, 富山.

63) 沢井昌子, 五十嵐隆夫, 樋口 晃: ウィルソン病の1女児例. 第12回富山県小児科集談会, 1986, 11, 富山.

64) 本間一正, 佐伯陽子, 江本清和: 糖尿病VI型の1例. 第12回富山県小児科集談会, 1986, 11, 富山.

65) 島田雅子, 谷 守正, 野田真紀子: Munchausen 症候群の1女児例. 第12回富山県小児科集談会, 1986, 11, 富山.

66) 長沼賢寛, 浅田礼子, 小西 徹, 丸山雄一郎: 特発性尿細管機能異常症の兄弟例. 第12回富山県小児科集談会, 1986, 11, 富山.

67) 上田智子, 村上巧啓, 木村晶子, 京谷征三, 松野正知, 足立雄一, 五十嵐隆夫: 「親と子の喘息教室」を3年間行なって. 第12回富山県小児科集談会, 1986, 11, 富山.

68) 吉住 昭, 高田恒郎, 桑原春樹, 柳原俊雄, 佐伯陽子, 丸山明夫, 寺尾史子, 牧 正史, 小柳満男: 当科5年間の登校拒否児の予後について. 第137回日本小児科学会新潟地方会, 1986, 12, 新潟.

69) 桑原春樹, 佐伯陽子, 丸山明夫, 柳原俊雄, 高田恒郎, 吉住 昭, 関根厚雄: 14歳女児の胃潰瘍に対する H₂ 受容体拮抗剤ファモシジン (ガスター) の使用経験. 第137回日本小児科学会新潟地方会, 1986, 12, 新潟.

70) 稲場 進, 鈴木好文, 岡田敏夫: 「Chance proteinuria and/or hematuria の取扱いと予後」乳幼児期発見例の検討. 第16回日本腎臓学会西部部会, 1986, 5, 長崎.

◆ その他

1) 五十嵐隆夫：年少児気管支喘息の気道過敏性測定について。福岡喘息研究会，1986，2，福岡。

2) 五十嵐隆夫，村上巧啓：ユスリカ喘息患者の疫学的研究。第5回ユスリカ研究会，1986，4，大津。

3) 樋口 晃，谷沢隆邦，稲場 進，馬淵大助，浅田礼子，鈴木好文，岡田敏夫：慢性関節リウマチに合併した膜性腎症の1例。第34回中部腎臓病談話会，1986，9，名古屋。

4) 村上巧啓，五十嵐隆夫，松野正知：オオユスリカを中心とした各種ユスリカのアレルゲン性の検討。第6回ユスリカ研究会，1986，10，岐阜。

5) 洲崎 健，峯岸正好，寺沢政彦，土屋 滋，今野多助：末梢成熟好中球がペルオキシダーゼ陰性，ケミルミネッセンス陰性であった Smorderling leukemia の1女児例。抗酸菌病研究所研究会集談会，1986，6，仙台。

6) 今村博明，嶋尾 智，市田露子，今井郁子，鈴木好文，岡田敏夫：高Ca血症を伴った Williams 症候群の1新生児例。第8回北陸骨Ca代謝談話会，1986，11，金沢。

7) 小西 徹，村上美也子，山谷美和，紺田応子，岡田敏夫：難治性てんかんにおける各種治療法の試み。第9回北陸小児神経懇談会，1986，2，金沢。

8) 村上美也子，山谷美和，紺田応子，小西 徹，瀬戸 光，二谷立介：¹²³I—IMP SPECT 法によるてんかん児の局所脳循環動態の測定。第10回北陸てんかん懇談会，1986，3，金沢。

9) 小西 徹，村上美也子，山谷美和，紺田応子，岡田敏夫：小児期焦点性棘波の Migration, Propagation に関する検討。第10回北陸てんかん懇談会，1986，3，金沢。

10) 長沼賢寛，村上美也子，山谷美和，紺田応子，小西 徹，岡田敏夫：Spike-wave stupor (Absence status) の1例。第10回北陸小児神経懇談会，1986，9，金沢。

11) 五十嵐隆夫，村上巧啓，足立雄一，佐伯陽子，丸山明夫，岡田敏夫：High Volume Air-Sampler を用いた室内空中ダニ抗原の定量的観察。第13回北陸アレルギー懇談会，1986，11，金沢。

12) 馬瀬大助，樋口 晃，浅田礼子，稲場 進，谷沢隆邦，岡田敏夫：カクテル療法にて臨床的治癒と組織学的改善をみた小児期 IgA 腎症の1例。第18回北陸腎疾患懇談会，1986，10，金沢。

13) 五十嵐隆夫，村上巧啓，足立雄一，佐伯陽子，松野正知，丸山明夫，岡田敏夫：気管支喘息児

の両親，同胞における好酸球数，好塩基球数，血清 IgE 値，プリックテスト及び気道過敏性の検討。第13回北陸アレルギー懇談会，1986，11，金沢。

14) 窪田博道，岡田敏夫：多剤併用療法にて治療した小児悪性リンパ腫の3例。第7回富山県血液研究会，1986，7，富山。

15) 足立雄一，五十嵐隆夫，村上巧啓，松野正知，佐伯陽子，丸山明夫，岡田敏夫：小児期鼻アレルギーに対するザジデンの効果について。第7回富山免疫アレルギー研究会，1986，2，富山。

16) 樋口 晃，馬瀬大助，浅田礼子，鈴木好文，岡田敏夫：乳児期 CAPD 療法の経験。第12回富山県腎疾患，人工透析研究会，1986，6，富山。

17) 村上巧啓，五十嵐隆夫，足立雄一，松野正知，佐伯陽子，丸山明夫，岡田敏夫，河合幸一郎，熊谷 朗，佐々 学：ユスリカ喘息に関する研究～オオユスリカのアレルゲン性について～。第7回富山免疫アレルギー研究会，1986，2，富山。

18) 浅田礼子，長沼賢寛，鈴木好文，岡田敏夫，丸山雄一郎：特発性尿細管機能異常症の兄弟例。第13回富山県腎疾患，人工透析研究会，1986，11，富山。

精神神経医学

教授	倉 知 正 佳
助教授	中 村 一 郎
講師	倉 田 孝 一
講師	清 水 昭 規
講師	細 川 邦 仁
助手	数 川 悟 勉
助手	藤 井 勉 雄
助手	三 辺 義 雄
助手	野 田 真 紀 子
助手	堀 野 有 行
助手	葛 野 洋 一
助手	堤 学

◆ 著 書

1) 小山善子，倉知正佳：大脳の機能(優位半球・劣位半球)。「精神科 Q&A」森 温理，長谷川和夫編，1—3，金原出版，1986。

2) 倉知正佳，山口成良：前頭葉と精神症状。「精神科 Q&A」森 温理，長谷川和夫編，4—6，金原出版，1986。

3) 倉田孝一，山口成良：仮面うつ病。「臨床医のための病態生理学講座・神経」荒木淑郎編，457—